



4 農業の移り変わり

時がたつにつれて農業の中身も変わってきました。本県の産業別就業人口は、図にあるように昭和35年から比較すると、昭和55年は、一次産業が半減しています。また、農家や人口や農家数も少なくなっています。

このように以前からみると農業をする人が減っているのが現実です。しかし、図でもわかるように農業機械の普及台数は増加傾向にあり、経営規模が2ha以上の大きい農家が増えてきています。こうすることにより収益の多い農業を目指して農家の人たちはがんばっています。また、国の指導のもと、米が余ってきたので転作が進められ、水田の面積が減って畑の面積が増えてきました。この畑では主に麦・大豆・牧草などがつくられています。